

ICANNルートサーバー諮問委員会 (RSSAC)関連報告

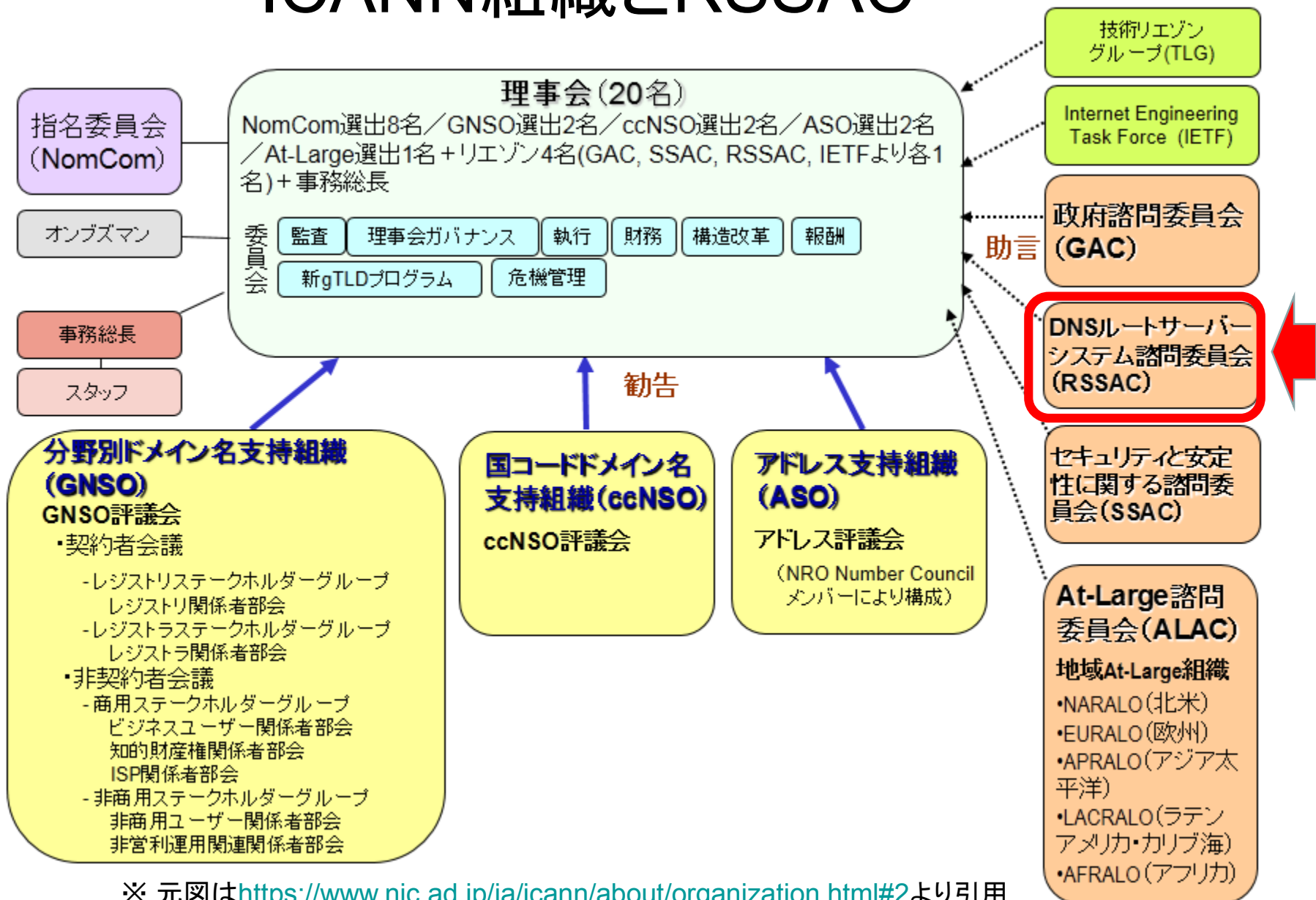
第43回 ICANN報告会

2015年7月28日

株式会社日本レジストリサービス (JPRS)

堀田 博文 <hotta@jprs.co.jp>

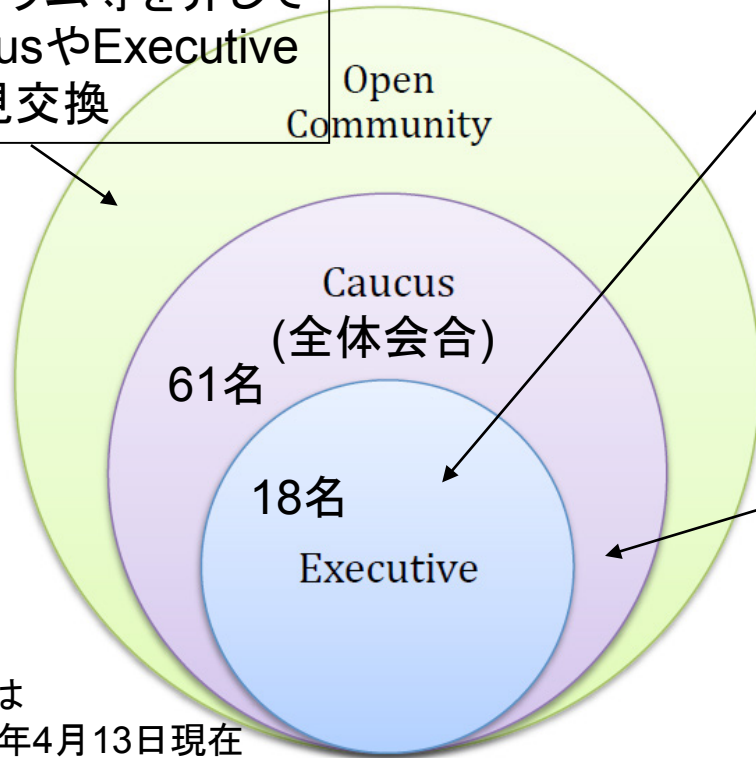
ICANN組織とRSSAC



※ 元図は<https://www.nic.ad.jp/ja/icann/about/organization.html#2>より引用

RSSACの構造

パブコメ、パブリック
フォーラム等を介して
CaucusやExecutive
と意見交換



人数は
2015年4月13日現在

ICANN構造上正規に定義されたRSSAC

- A~Mルートサーバーオペレータから各1名
- ICANN(IANA部門)から1名
- Verisign(ルートゾーン管理)から1名
- NTIAのIANA関連部門から1名
- IABリエゾンから1名
- SSACリエゾンから1名
- ICANN理事会リエゾンから1名

- RSSACの役割を果たすための検討、
文書作成を行う専門家の集合
- メンバは自薦し、RSSACが任命
(基本姿勢：貢献希望者の参加は拒まず)

チェア2名



Tripti Sinha
メリーランド大学
D-root



Lars-Johan Liman,
Netnod
I-root

会合

- RSSAC (RSSAC executive)会合
 - 電話会議 1回/2週
 - M-Rootからの正委員:村井純、代理委員:堀田博文
 - F2F会合 年3回 (主にICANN会合)
- RSSAC全体 (RSSAC Caucus) 会合
 - 物理会合 年1回 (IETF会合時)
 - 2015年3月22日ダラスにて初回会合
 - 会員61名中約40名が参加
 - RSSAC ExecutiveとRSSAC Caucusの活動手順の説明
 - 活動状況の共有
 - ルートサーバーのサービス仕様(要求仕様)の文書化[RSSAC001]
 - ルートサーバーの品質や性能の測定方針の文書化[RSSAC002]
 - ルートゾーンのレコード対するTTL見直しの検討開始へ
 - 将来の活動項目に関するブレインストーミング

[RSSAC002] ルートサーバーの品質・性能の測定

- RSSACから文書発行
 - 評価尺度
 - Latency in publishing available data
 - The size of the overall root zone
 - The number of queries
 - The query and response size distribution
 - The RCODE distribution
 - The number of sources seen
 - DNSルートゾーンのサイズ増大の悪影響を早期発見
 - 2015年末までに全13ルートが評価尺度に沿った測定を実装・公開予定

[RSSAC003?] ルートゾーンTTL見直しの検討

- 3月のRSSAC Caucus会合を受けてCaucusにて検討開始
- TTL (Time To Live)
 - DNS情報の生存期間 (キャッシュされたデータの有効期間)
 - 長いと: DNSサーバへの負荷が小さい、アプリケーションの反応が早い
 - 短いと: DNSデータの誤設定修復が速くインターネット全体に伝わる

Resource Record	Type	TTL
Root SOA	authoritative	1 day
Root DNSKEY*	authoritative	2 days
Root NS	authoritative	6 days
Root Glue (A, AAAA)	glue	6 days
Root NSEC*	authoritative	1 day
TLD NS	delegation	2 days
TLD Glue (A, AAAA)	glue	2 days
TLD DS*	authoritative	1 day

- 結論案
 - DNSSECで生じる問題の解決速度をTTL値変更で改善する検討は余地あり
 - 上記DNSSEC以外の理由でTTLを変更する必要なし